

履歴書

2012 年 5月6日現在



ふりがな		にしかわ るみか	
氏 名			
西川 留美加			
出身地 埼玉県志木市	年齢(満 36 歳)	※男 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 女	
参加した NICE ボランティア	分野		
国際ワークキャンプ(オランダ2回) 中長期(韓国)	環境 教育/文化		
場所 (国・市町村まで記入)	オランダ(ブレタ) 韓国(南原市実相寺)		
受け入れ団体	オランダ SIW 韓国 IWO		
満足度			
70%			
活動のやりがい度			
95%			

こんなボランティアでした
オランダ: 森林局の人たちと森、公園の手入れ
韓国: 代案中学校(日本のフリースクールのような学校)で英語会話クラス補佐、クラブ活動運営(日本語、ダンス)、週1回朝の全体ミーティングで日本についてスピーチ、学校の特別授業、課外活動に参加。お寺の持つコミュニティの帰農学校、環境保護団体、社会文化教育センターの人達との交流等

年齢	経歴
21歳	オランダで環境ワークキャンプ参加(ブレタ)
24歳	オランダで環境ワークキャンプ参加(場所を忘れてしまった)
25歳	イギリス語学留学 BTCV の環境保護活動、キャンプに参加
26歳	ナイスボランティアスタッフ アジボネ担当(約2年)
27歳	日本語教育能力試験合格
28歳	韓国中長期参加 そのままワーホリで韓国10ヶ月計滞在 韓国ユネスコの国際ユースキャン参加(DMZ で野鳥の保護)
29歳	日本語学校、外資系の会社員又その家族に日本語を教える(約5年)
34歳	ロンドン大学 SOAS フリマスタースコース(開発、比較文化、言語教育)
35歳	ロンドン大学 Birkbeck カレッジ MA Applied Linguistics (応用言語学) 在学中
趣味・特技	旅行、読書、映画鑑賞、タップダンス
座右の銘	継続は力なり
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
中学2年	家族で当時オランダに住んでいた伯父伯母を訪ねる
中学3年	学校の米国研修参加 オレゴンポートランドでホームステイ
大学生の時友達に誘われて、小中学生と老人ホームに行きホームの方と一緒に工作をしたり、生け花をしたりするボランティアに参加(子供、ホームの方との活動年に2回、窓ふき月1回 4、5年継続して参加)	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

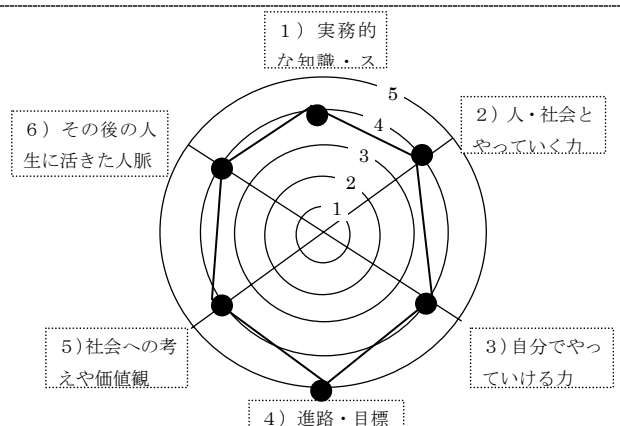
3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
ワークキャンプ：夏休み中旅行だけでなく、海外でボランティアに参加して外国人と一緒に何かしてみたかった
中長期：アジアボネ担当ボラスタとして活動するうちに自分もアジアのボランティアに参加したくなった。 日本語教師の試験に合格したので教える経験をつみたかった。
語学留学で韓国人の友達がたくさんでき、韓国を何度も訪れているうちに韓国文化や韓国語に興味を持った。
韓国の仏教、オルタナティブ教育に興味があった。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
ワークキャンプ：英語力 行けばなんとかかなると思っていたが、行って苦労した。 キャンプに参加したこと英語を勉強するモチベーションは上がった。
中長期：アジアボネで、IWOのスタッフとも何度も会っていたし、私の前に参加した日本人参加者（かよ）の話も聞けたのであまり不安はなかった

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
初めてのワークキャンプ前は、母親が若干心配していたみたいだったが、特に反対されることなどはなかった

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
ワークキャンプで外国人と接しているうちに日本語教師になりたくなった。
ワークキャンプ、ボラスタ、中長期すべての経験が日本語教師の仕事に役立っている。
具体的には、ワークキャンプ、中長期で得た、異文化理解、異文化コミュニケーション能力、ボラスタとして得た、ファシリテーターとして会話、議論、タスクに参加してもらった力など

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	行く前に不安があっても、ナイスは過去の参加者の話を聞いたりする機会や研修なども充実しているので、まずは日本でナイスの活動に積極的に参加してみてください。そして実際海外に行って得た経験や人脈は、その後の人生を更に楽しくカラフルにしてくれるはずですよ！

※ 成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）